

施策評価シート (平成31年度の振り返り、総括)

作成日 令和2年 04月 06日

施策 No.	4	施策名	道路ネットワークの整備
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	商工観光課、環境課、都市計画課、都市整備課		

施策の対象	市内の道路								
対象指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度見込
市道延長	km	1,279.2	1,280.9	1,286.6	1,285.5	1,285.5	1,308.7	1,309.8	1,309.8
橋りょう数(橋長15m以上)	橋	31	31	31	31	31	31	31	31
国県道延長(真岡市分)	km	161.3	161.7	161.7	161.7	161.7	161.7		

施策の意図	<p>・幹線道路の整備を促進するとともに道路網の整備を進め、効率的で機能的な道路ネットワークを構築する。</p>								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<p>・「市道改良率」は、市道延長に対する改良済み延長の割合を示す。 ・「市道舗装率」は、市道延長に対する舗装済み延長の割合を示す。 ・「橋りょう修繕実施率」は、橋長15m以上の橋りょう数に対する修繕を実施した橋りょう数の割合を示す。 ・「国県道改良率」は、国県道延長に対する改良済み延長の割合を示す。(栃木県県土整備部道路現況調査より)</p>								
成果指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度基本計画目標値
市道改良延長	km	928.5	931.1	937.2	936.5	936.8	961.4	963.7	966.5
市道改良率	%	72.6	72.7	72.8	72.8	72.9	73.5	73.6	73.4
市道舗装延長	km	1,223.2	1,233.1	1,242.0	1,244.4	1,247.7	1,274.6	1,278.1	1,288.2
市道舗装率	%	95.6	96.3	96.5	96.8	97.1	97.4	97.7	97.8
修繕実施橋りょう数(橋長15m以上)累計	橋	0	1	4	8	10	14	17	17
橋りょう修繕実施率(橋長15m以上)	%	0	3.2	12.9	25.8	32.3	45.2	54.8	54.8
国県道改良延長(真岡市分)	km	149.1	150.4	150.4	150.4	150.4	150.4		
国県道改良率(真岡市分)	%	92.4	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0		

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>住民は、道路ネットワークを利用した地域間交流や経済活動を行う。</p> <p>行政は、道路ネットワークを考慮し、積極的な道路整備の推進に努める。また、道路や橋りょうの計画的な維持修繕に努める。</p>
-------------------------	---

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

○市道延長は、平成29年度に市道126号線を総合運動公園から県道西小埜真岡線を経由し国道294号までの区間について変更したことから増加したものの、市役所新庁舎建設に伴う市道の廃止等があり、市道延長の伸びは横ばいとなった。平成30年度は、真岡市長田土地区画整理事業の換地処分に伴い23.2kmの大幅な増加となった。令和元年度は、道路改良事業に伴い新たに市道4382号線外3路線を市道に認定するなどにより1.0kmの増加となった。

○市道改良率は、平成29年度に市道4040号線（柳林）や市道2204号線（島）の改良事業が完了したことなどから0.1ポイント増加した。平成30年度は、真岡市長田土地区画整理事業の換地処分に加え、市道1068号線（西郷）や市道6172号線（鷲巣）、市道2404号線（小林）の改良事業が完了したことなどから0.6ポイント増加した。令和元年度は、市道3159号線（原町）、市道203号線（下籠谷）の改良事業が完了したことなどから0.1ポイント増加した。

○市道舗装率は、市内一円の道路舗装新設事業や県単農道整備事業などにより、平成29年度は0.3ポイント増加、平成30年度は0.3ポイント増加、令和元年度は0.3ポイント増加した。

○橋りょう修繕実施率（橋長15m以上）は、平成29年度にあさひ橋、三石橋の2橋を修繕し、平成30年度は亀北橋、五行さくら橋、和田橋、中郷橋の4橋を修繕、令和元年度は三国橋、坂下橋、三谷橋の3橋を修繕し累計は17橋となり、54.8%となった。

(2) 近隣他市との比較（平成30年度末比較）

・市道改良率（73.5%）は、県内14市中6位であった。
近隣他市：宇都宮市:80.9%、小山市:71.8%、下野市:64.2%

・市道舗装率（97.4%）は、県内14市中1位であった。
近隣他市：宇都宮市:95.8%、小山市:92.3%、下野市:88.1%

(3) 住民期待水準との比較

市民意向調査によると「道路の整備状況が良いと感じている市民の割合」は、平成29年度は63.9%、平成30年度は62.5%、令和元年度は60.7%であり、3年間で3.2ポイント減少した。

道路改良事業や土地区画整理事業により、幹線道路や土地区画整理地内の生活道路の整備が進んでいる。しかし、市街化調整区域の生活道路の改良や舗装の整備については市内各地から数多くの要望が出されている。また、道路の経年劣化等により区長を通じた修繕等の要望件数は平成30年度と比較し19件減少した。

令和元年度末時点における道路整備要望件数		
道路改良	126件	（対前年 8件減）
道路舗装	125件	（対前年 7件減）

区長を通じた道路修繕要望件数		
平成29年度	17件	（対前年 6件増）
平成30年度	27件	（対前年 10件増）
令和元年度	8件	（対前年 19件減）

市民等からの道路修繕・清掃等、維持管理に関する要望件数		
平成29年度	336件	（対前年300件減）
平成30年度	678件	（対前年342件増）
令和元年度	551件	（対前年127件減）

31年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

(1) 市道の整備推進（令和元年度実績）

- ・市道113号線（都市計画道路長田中線の延伸）については、道路築造工及び用地取得を実施した。
- ・市道289号線（大和田産業団地へのアクセス道路）については、道路築造工事を実施した。
- ・生活道路整備として、市道19路線の測量、設計、物件補償、用地取得、改良工事を実施した。
- ・市内一円10地区9路線の舗装工事を実施した。
- ・安全で快適な自転車利用環境整備を目的とした自転車ネットワーク事業については、自転車通行帯の整備を実施した。
- ・損傷が顕在化した場合の影響が大きい橋長15m以上の橋りょう31橋について、予防保全的な修繕による安全確保と維持管理費の縮減を目的に策定した橋梁長寿命化計画に基づき、三石橋、坂下橋、三谷橋の修繕工事を実施した。
- ・橋長2m以上の橋りょう494橋に、一般県道西田井二宮線の移管に伴う4橋と下高間木歩道橋1橋を加えた499橋のうち、68橋の点検を実施した。
- ・路面性状調査結果に基づき、劣化の激しい18路線、3,342mの舗装修繕工事を実施した。

(2) 国道の整備促進（令和元年度実績）

- ・平成23年に全線開通したした北関東自動車道路を補完し、地域相互の交流促進や広域交通拠点との連結等に資する地域高規格道路として国道408号鬼怒テクノ通りの整備が進められ、真岡南バイパス（主要地方道真岡上三川線から国道294号までL=3,100m）については、用地補償及び改良工事が進められた。
- ・国道121号は、京泉工区（飯貝、京泉、原町L=1,700m）のうち、L=260m区間（京泉1）が完了し、L=570m区間（京泉2）については、用地測量が進められ用地補償にも着手した。
- ・国道294号は、八條工区（東郷、八條L=1,200m）の一部で用地補償が進められた。また、二宮工区（久下田、石島、寺内L=4,100m）は、4車線化に向け道路詳細設計が実施された。

(3) 県道の整備促進（令和元年度実績）

- ・主要地方道栃木二宮線は、長島工区（古山、程島、長島、久下田L=2,080m）の一部で用地補償が進められた。
- ・主要地方道つくば真岡線は、水戸部工区（水戸部L=1,000m）の改良事業に着手し、現況測量が実施された。
- ・一般県道西田井二宮線は、石島工区（沖、石島L=1,850m）の一部で用地補償、改良工事、新石島大橋下部工事が実施された。
- ・一般県道石末真岡線は、堀内工区（飯貝、上大田和、堀内L=1,300m）と、西郷工区（下大田和、西郷、中郷L=1,900m）の一部で用地補償や改良工事、舗装工事が進められた。また、西郷工区のうち中郷萩田土地区画整理に係る区間（L=400m）では電線地中化に向け詳細設計も実施された。
- ・一般県道西小埜真岡線は、小林工区（島、小林、根本L=1,500m）の一部で用地測量、用地補償が進められた。

31年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

(1) 市道の整備・修繕推進

- ・市道113号線（都市計画道路長田中線の延伸）の建設を推進する。
- ・市道289号線（大和田産業団地へのアクセス道路）の建設を推進する。
- ・生活道路の整備を推進する。
- ・市内一円の舗装工事の整備を推進する。
- ・安全で快適な自転車利用環境整備のため、自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行帯の整備を推進する。
- ・市内の橋りょうを対象に5年に1度の定期的な点検により、計画的に修繕を実施し、安全確保及び維持管理予算の平準化を図る。
- ・企業や団体等に、市道の清掃や除草を行ってもらう道路アダプトプログラム（里親制度）や、「活力ある地域づくり事業」のメニューの1つである「地域道路愛護支援事業」等を活用し、市民・法人の道路愛護意識の向上を図るとともに、道路維持管理費の縮減に努める。

(2) 国道の整備促進

- ・国道408号鬼怒テクノ通り真岡南バイパスの建設を促進する。
- ・国道121号京泉工区の整備を促進する。
- ・国道294号八條工区の整備を促進する。
- ・国道294号二宮工区（久下田、石島、寺内）の4車線化の整備を促進する。

(3) 県道の整備促進

- ・主要地方道栃木二宮線長島工区の建設を促進する。
- ・主要地方道つくば真岡線水戸部工区の整備を促進する。
- ・一般県道西田井二宮線石島工区の整備を促進する。
- ・一般県道石末真岡線堀内工区及び西郷工区、中郷萩田工区の整備を促進する。
- ・一般県道西小埜真岡線小林工区及び島工区の整備を促進する。

31年度の
評価結果

補足事項